

～素晴らしい一貫教育校を真鶴町民みんなの力で～
第1回「教育を語り合う会」を開催しました！

魅力ある一貫教育校の実現に向け、将来の学校や教育について町民みんなで考え、話し合う場「教育を語り合う会」が、7月22日(土)、町民センター3階講堂で開かれました。第1回目となる今回の「教育を語り合う会」には40名を超える参加者があり、元社会教育主事である教育長の進行のもと進められたワークショップでは、学校や教育に対する皆さんの思いが熱く交わされました。

アイスブレイキング「意思表示ゲーム」「トントンすりすり」

ワークショップの前に、まずは「意思表示ゲーム」。進行役からの質問に、グー(そう思う)・チョキ(どちらとも)・パー(思わない)で答えました。中盤には、少し体をほぐすための「トントンすりすり」。簡単そうに見える動きでも、意外と難しいこともありますね。



ワークショップ「テーマ1」「テーマ2」

皆さんから出された意見の一部を、カテゴリー化してみました。

テーマ1 「あなたにとって学校は？」

- 出会い: 友だち** ・大切な友だちに出会えた。
・休み時間が楽しかった。
・みんなで歌を合唱するのが楽しかった。
- 出会い: 先生** ・心に響く人との出会い。
・身近に大人を感じられるところ。
・ステキな先生に出会えた場所。
- 出会い: 自分と他者** ・自分を成長させるところ。
・人とのつき合い方を学ぶところ。
・たくさん失敗するところ。
- 勉強・学び** ・学び合うところ。・大人も学べるところ。
・新しいことを学ぶところ。
- 部活** ・部活がおもしろかった。
・体をたくさん動かせるところ。
- 給食** ・おいしい給食を食べられるところ。
- その他** ・不思議なルールがあるところ。



テーマ2 「どんな学校を未来の子どもたちに？」

- 自分らしく** ・自分らしくいられる場。
・どの子どもにも居場所になる学校。
- 地域・コミュニティ** ・町の中心になる学校。
・子どもだけでなく大人も行きたくなる学校。
・人とのつながりが生まれる学校。
- 校舎・校庭・施設** ・自然光が入るぬくもりのある校舎。
・フリースペースがある。
・使いやすくてきれいなトイレ。
・自分たち(子どもたち)も建設に関わったと思える学校。
- 真鶴らしさ** ・町の伝統を学び伝える。
・お林や海などの自然環境を生かした教育。
- 学校のカリキュラム** ・「好き」を大切。・チャレンジとトライ。
・地域人材が活かされる。
- その他** ・安心・安全な学校。・先生たちが働きやすい学校。
・地域に開かれたカフェテリア式の昼食。

終了後の振り返り (一部)

- ・グループの方とたくさんお話ししながら、考えを深めることができました。前向きな会で、とても楽しかったです。良い学校ができると感じました。
- ・真鶴の将来に向けた、有意義な時間を過ごすことができました。子どもたちと大人たちが、一緒に学ぶことができる学校ができると良いと思います。
- ・多くの皆さんの参加があり、それぞれの思いを話すことで楽しかった。回を重ねるごとに、すばらしい学校が出来るようになっていくと思う。
- ・様々な立場、世代の人たちが「町の学校」を中心に前向きな話し合いができたことが大変よかった。町の人たちの想いがたくさん詰まった学校ができたら素敵だと思いました。
- ・町の教育を前向きに考えている方が多いことがわかった。様々な世代の方のお話が聞けて、視野と考えが広がった。この会の意見や話が活かされることを期待したい。



次回は、11月18日(土)9:30～11:30です。
 会場: 町民センター3階講堂
 テーマ: 「真鶴町の教育の強みって何だろう？」
 「一貫教育校に望むことは？不安なことは？」
 進行: 神谷啓之 社会教育主事(県西教育事務所)

詳細な内容は
 コチラから↓



問い合わせ 教育課教育総務係 ☎内線434

◆真鶴町役場 代表電話番号 0465-68-1131◆